

職能科通信 27号

2015年 1月発行

職能科通信

検索

〒243-0121
神奈川県厚木市七沢 516
神奈川県厚木市七沢 516
神奈川リハビリテーション病院
職能科
TEL&FAX 046-249-2575

高次脳機能障害セミナー 就労支援編

平成27年1月24日（土）鎌倉芸術館にて「高次脳機能障害セミナー就労支援編」が開催されました。今年度は、鎌倉・横須賀・三浦地区での開催となり、地元地域の支援機関の方を中心に48名のご参加を頂きました。午前中は講義を中心に(写真1)、午後は事例検討を中心に実施をしました。事例検討では(写真2)、様々な職種の方々に参加頂いたこともあり、「他職種が実際にどのような支援をしているのか理解できた」といった声や、「どのように連携していけば良いのかイメージが湧いた」といった声が聞かれました。



写真1 就労支援の講義

高次脳機能障がいの方の就労支援を進めていくにあたっては、医学的リハ段階から、社会リハ、そして職業リハ段階までシームレスな支援が求められます。まずは、お互いの支援機関の役割について知ることが連携のスタートとなります。今回のセミナーを機に地元の就労支援ネットワーク構築に繋がっていけばと良いのではと考えています。

なお、今後も「高次脳機能障害セミナー就労支援編」は、地域の就労支援ネットワーク構築を目的に、過去に未実施の地域での開催を予定しています。来年度の開催地は未定ですが、是非所属機関のお近くで実施された場合には、奮ってご参加頂ければ幸いです。

今回の協力機関と講師は次の方々でした。

神奈川県障害者職業センター	菱川治氏
神奈川県就労相談センター	佐藤守氏
よこすか就労援助センター	後藤由紀夫氏
障害者支援センターぽけっと	渡辺直人氏
県央就労援助センター	柳川圭介氏
NPO 法人脳外傷友の会ナナ	浜崎政廣氏

神奈川県総合リハビリテーションセンターの講師は、

リハビリテーション科医師	青木重陽
高次脳機能障害支援室	瀧澤学 中澤若菜
職能科	泉忠彦 小林國明



写真2 事例検討

でした (小林 國明)

高次脳機能障害セミナー 実務編

平成 26 年 12 月 6 日（土）、相模原市のおださがプラザにて「高次脳機能障害セミナー実務編」が開催されました。今年度の実務編のテーマは「分かち合おう、実践のチカラ」ということで、医師、臨床心理士、理学療法士、作業療法士、就労支援、コーディネーターそれぞれの立場から、実際の現場で見られる臨床像や、当病院で実施しているリハビリの方法などを、事例を交えて具体的にお話しさせていただきました。今回のセミナーでは、医療職をはじめ、ソーシャルワーカーの方や支援機関の方々など、約 80 名と多数のご参加をいただきました。

職能科からは、就労支援の立場から植西が講演を担当いたしました(写真 3)。講演では高次脳機能障がいの方に対する就労支援の基本的な流れと、各段階における支援のポイントを踏まえ、事例をご紹介しました。

高次脳機能障がいの方の就労については、仕事ができる能力はもちろんですが、その前に日常生活の管理や、ご自身の障がいの理解がとても重要になってきます。職能科ではご自身の高次脳機能障がいに気づいて、知っていただくために段階的な支援プログラムを提供しており、今回は個別・集団訓練、実践的な訓練などのプログラム、また、社会生活でのリハビリテーションなどについてお話をしました。さらに職業生活を継続することが重要であることから、継続した支援の必要性について講義の中で触れさせていただきました。このためには就労支援ネットワークを活用することが必要です。今回は医療機関、支援機関などの多職種の方にセミナーに参加していただき、ぜひ皆様がつながりを持って、活用できる支援ネットワークを広げていただければと思います。高次脳機能障がいの方への支援では、それぞれの段階で、多職種の方が色々な関わり方をしていきます。高次脳機能障がいの方がどのような道のりで就労へとつながっていくのかを支援に関わる方が知っていただくことがネットワークにつながる一歩だと感じています(写真 4)

(植西 佑香里)



写真3 就労支援についての講演



写真4 質疑応答

平成 26 年度就労支援の実績

職場内リハビリテーション実施人数	
2014年4月～12月の累計	9名

就職・復職者の人数		
2014年4月～12月の累計	新規就労	11名
	復職	24名